令和７年度　事業報告書

令和７年４月　１日から
令和８年３月３１日まで

学校法人　日高学園

１．法人の概要

名　称　　学校法人　日高学園
（昭和２９年５月設立の個人立幼稚園を昭和５０年１２月２３日に法人化）
代表者　　理事長　宇杉千賀子
設置する学校　名　称　聖ヶ岡幼稚園
住　所　大阪府和泉市太町１３３番１
園地面積　２，７３８㎡　　運動場面積　１，５１７㎡
園舎面積　１，８５２㎡
役員等の状況
理事定数　　6名　　現員　6名　　監事定数　2名　　現員2名
評議員定数　7名　　現員　7名

２．教職員の状況

園長　1名　　教員　１１名　　職員　４名　　パート5名
※教員のうち1名は令和7年12月より産休・育児休暇中

３．園児の状況

園児数の推移表をここに掲載

	満３歳児		３歳児		４歳児		５歳児		計	
	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数
認可定員	1	20	3	100	4	105	4	115	12	340
令和５年度	1	17	2	41	2	47	3	56	8	161
令和６年度	1	10	2	26	2	44	2	46	7	126
利用定員	1	16	1	17	1	26	2	46	5	105
令和７年度	1	14	1	15	1	27	2	45	5	101

４．納付金の状況

入園受入準備金	入園時　５０，０００円
保育料	特定園児の居住する市町村が定める額の基本料金を保護者から徴収し当該市町村から施設型給付費等を法定代理受領する。
バス維持費	月額　　３，５００円（バス利用者のみ）
教育充実費	月額　　２，０００円
給食費	1食　　３６０円
教材費	年額　約４，０００円（進級時のみ）

５．教育・保育の状況

≪教育方針≫　　健康な心と体づくり
豊かな感性を育てる
生活と遊びの中で社会性を育てる

≪教育・保育内容≫

朝・昼食後、一斉保育終了後に戸外自由遊びの時間を設定し、子どもたちの活発な動きによる体力向上を計りつつ、異年齢や他クラスの友だち、そして保育者とも関わり、広く信頼関係を持ち、思いやりの心を育んでいけるようにしている。

設定保育の中では、人の話を聞けること、自分の考えや思いを伝えることを大切にしながら豊かな感性を培い、集中力や表現力の養成に努めている。

令和7年度より前年度までは週に1回の体操の時間を週に２回に増やし、体の使い方について経験数を増やしたことは子どもたちの意欲や自信につながっているのではないかと感じている。（満３歳児は内容によって時々、年少児と共に受ける。）

また年長児においては新しく学研の指導員による科学あそびの時間を取り入れた。月１回ではあるが、子どもたち自身が身近な素材や現象に触れ、発見や驚き、考察や想像したことについての発言が引き出され、楽しむ姿からも効果は大きいと思われる。

その他においても専門講師から園の教員が指導法を学べることも多いようである。

≪保育時間≫

月～金曜日　　午前１０時～午後２時３０分（水曜日は午後１時まで）
土曜日　　休　園

≪行事実施状況≫

入園式、春の親子遠足、母親参観、父親参観、内科・歯科検診、七夕まつり会、お泊り保育、英語・体操参観、運動会、芋掘り、秋の遠足、工作展、和泉市商工フェスタ鼓隊出演、クリスマス会、音楽とお遊戯の会、節分豆まき、ひな祭り会、お別れ遠足、卒園式

≪子育て支援の状況≫

・預かり保育
月～金曜日　　午前７時から午前８時，午後３時～午後６時
（水曜日は午後２時～午後６時）
夏・冬・春休み中の預かり保育は午前７時～午後６時

・未就園児保育
年間21回で保護者の希望により火曜日コース、木曜日コース、（火・木の）週2回コースを選択できるようにした。1学期末と2学期末には参観や個人懇談を行い、子育て相談の機会を設けた。子育ての不安や子どもの姿に見られる課題について話し合えたようである。
また入園時期に迷う保護者には、家庭で遊ぶ環境や人と触れ合う機会が

少ないという場合は満3歳児からの入園を提案し、よりよい教育・保育が提供できた。

6．教員のキャリアアップの状況

【音楽】　・月に一回（土曜日）の昇高京子先生による歌唱研修を受け、歌唱法、ピアノの演奏法、指揮法、そして園児への指導法を学ぶ。

【マーチング】・江藤洋志先生には楽譜とマーチングドリルの案を依頼。また鼓隊の編成や動画を見てのアドバイスを頂き、子どもたちの溌溂とした姿へと導けるよう、教員同士で考察を重ねる。

【園内研究保育】・各職員の興味ある教材における他の保育者の保育を見学して、自分との違いに気づきそれぞれの良さや反省などを自分の保育に活用できるようにする。

【教員研修】　・全教職員で和泉市私立幼稚園連合会の対面式の研修や幼稚園連盟（南海支部）に参加した。また、処遇改善要素のために必要な時間数の研修を受けるという理由ではあるが、それぞれの職員が自分に必要であると思う研修を選択して受講し学べる機会となった。

7．その他

令和７年度より、子ども子育て支援制度の施設給付型幼稚園に移行した。それにより必要となった運営規定での利用定員の設定、保育料が施設利用料という概念に変わったため理事会・評議員会での議決を取り、園則の変更を行った。

和泉市からの施設機能強化推進費加算における給付金を利用して非常食料品と保存水の購入をすることができた。

園児数減少により通園バスの利用者も減少したためバス1台を売却し、運転手の派遣会社ジャパンリリーフの解約をした。

８．財務状況　　令和7年度（令和7年４月１日～令和8年３月３１日）

資金収支計算書　　（単位：円）

科　　目	金　　額
学生生徒等納付金収入	2,280,000
手数料	800,000
寄付金収入	0
補助金収入	89,832,698
資産売却収入	1,069,600
付随事業・収益事業収入	11,153,950
受取利息・配当金収入	53,559
雑収入	6,244,834
前受金収入	0
その他の収入	32,823,387
資金収入調整勘定	△ 19,381,624
前年度繰越支払資金	36,337,922
収　入　の　部　合　計	161,214,326
人件費支出	77,594,709
教育研究経費支出	12,734,421
管理経費支出	16,806,006
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	0
施設関係支出	0
設備関係支出	0
その他の支出	29,752,893
資金支出調整勘定	△ 2,854,423
翌年度繰越支払資金	27,180,720
支　出　の　部　合　計	161,214,326

事業活動収支計算書　　（単位：円）

科　　目	金　　額
学生生徒等納付金	2,280,000
手数料	800,000
寄付金収入	0
補助金収入	89,832,698
付随事業収入	11,153,950
雑収入	6,244,834
教育活動外収入	53,559
特別収入	1,069,599
事業活動収入合計	111,434,640
人件費	77,804,709
教育研究経費	24,341,274
管理経費	17,600,945
特別支出	2,150,000
事業活動支出合計	121,896,928
基本金組入前当年度収支差額	△ 10,462,288
基本金組入額	0
当年度収支差額	△ 10,462,288
前年度繰越収支差額	△ 286,775,915
基本金取崩額	4,825,040
翌年度繰越収支差額	△ 292,413,163

貸借対照表　（単位：円）

資産の部	
科　　目	金　　額
固定資産	460,178,347
流動資産	46,918,726
資　産　の　部　合　計	507,097,073
負債の部	
科　　目	金　　額
固定負債	0
流動負債	5,546,683
負　債　の　部　合　計	5,546,683
純資産の部	
科　　目	金　　額
基本金	793,963,553
第１号基本金	793,963,553
繰越収支差額	△ 292,413,163
翌年度繰越収支差額	△ 292,413,163
純　資　産　の　部　合　計	501,550,390
負債及び純資産の部合計	507,097,073

財産目録　（単位：円）

１．資産総額	507,097,073
Ⅰ固定資産	460,178,347
Ⅱ流動資産	46,918,726
２．負債総額	5,546,683
Ⅰ固定負債	0
Ⅱ流動負債	5,546,683
３．正味財産	501,550,390